

【参加者募集中】ウズベキスタン視察調査団

－ 中央アジアの新たな親日国・ウズベキスタンの魅力と可能性を探る －

JICA東京高崎分室は2022年10月に高崎市と共催で中央アジアの親日国・ウズベキスタンを取り上げ、「ふるさとの国際化・多様化を考えよう」というテーマで外国人雇用に関するセミナーをハイブリッドで開催し、約130名の参加をいただき、多くの方々から大変好評をいただきました。その結果を踏まえ、今回は開発途上国への進出や人材の雇用に関心を持つ群馬県内の中小企業の方々および自治体等公的機関の企業支援部門の方々を対象としてウズベキスタン視察調査団参加者を募集します。

以下の内容につきまして、貴紙面での告知をお願い申し上げます。

ウズベキスタンは旧ソ連共和国の一つで、JICAは1999年に首都タシュケントに事務所を開設しました。現在ウズベキスタンは、2016年からの現政権の開放的政策で目覚ましい発展を遂げており、人口は約3,500万人と中央アジア最大で、若年労働者の比率も高く、経済成長率は5%程度で、コロナ禍の期間もプラスを堅持するなど力強さのあるビジネスチャンス秘めた国です。

JICA東京高崎分室では、その人材リソースの大きな可能性に注目していますが、経済成長力を見れば、産業自体のポテンシャルも注目に値すると考えています。

今回の視察調査では次にあげる項目について理解を深め、次のステップに進む可能性を見出して頂きたいと考えています。

- 1) ウズベキスタン経済人の国の開発への意欲と、それに日本の中小企業が貢献できる可能性
- 2) 同国内でJICAが蓄積した現地での信頼関係やネットワークを活用したビジネス関係構築の可能性
- 3) 同国の人材の質・量両面のポテンシャルと本邦企業による雇用の可能性と課題

本視察を通じ、JICAの「中小企業・SDGsビジネス支援事業」など更なるJICA支援の活用について検討するとともに、群馬県の国際化のヒントとしていただくことも期待されます。

<概要>

派遣国：ウズベキスタン（首都タシュケント、及び周辺の地方都市を予定）

派遣期間：2023年10月22日（日）～29日（日） ※移動日含む

参加要件：群馬県内の企業または企業を支援する機関（自治体等）に勤務する方で、現地日程のほぼすべて、別途実施予定の事前学習会並びに帰国後報告会に参加いただける方。

募集人数：6名程度

参加費用：航空賃（20万円程度）、日当・宿泊費（1泊あたり15,000円程度）は自己負担とさせていただきます。現地での移動や通訳はJICAが手配・負担します。

(* 航空便については、JICA が利用する旅行代理店より同一便をご案内します。別便、別途手配をご希望の方はご相談下さい。宿泊先は JICA が予約します。安全管理と調査の円滑実施のため日程内では JICA 予約の宿泊先をご利用頂きます。)

応募方法：添付の申込書を E-mail または FAX でお送りください。

募集締切：2023年8月23日（水）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京センター高崎分室 高橋、武井

TEL/FAX : 027-388-8023

E-mail : Takei-Itsuki@jica.go.jp, Takahashi.Masayuki@jica.go.jp